

令和6年度

徳島市加茂名中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

主体的に学ぼうとする生徒を育成する環境づくりと授業実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員
校長 岩根 正明 1学年主任 上野 高弘 1学年主任 戸村 由絵	教頭 竹内 宏子 久米 輝 2学年主任 板東 真也 学力向上担当 阿部 佳世 教務主任 神戸 学 3学年主任 坂東 秀昭 特別支援CD 大林 美穂 学力向上推進員 鈴木 彩加

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や、教員からの報告等、さまざまな機会を捉え、取組み状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○各教科、基礎的・基本的な知識を問うような課題に対しては、意欲的に取り組む生徒が多い。 ●身につけた複数の知識を使って、関連づけたり、文章を読み取ったりすることに課題がある。	・授業の振り返りや家庭での学習を通して、基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができる。 ・習得した知識・技能を他の学習や課題でも関連づけたり、活用したりすることができる。	・授業規律を徹底する。 ・ユニバーサルデザインを意識した授業設計で「分かる授業」を展開する。 ・ノートや宿題チェックを定期的実施する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○課題について、表現するための例や型を示せば、表現することができる。 ●根拠や理由を明らかにして、筋道を立てて自分の考えを表現することに課題がある。 ●長い文章や複数の資料で示された課題に対して難しいと感じて諦める生徒が多い。	・身につけた基礎的な学習内容を生かして、「なぜなら」「～だから」という根拠や理由を示しながら、自分の考えを表現することができる。 ・読書に興味・関心を持ち、自分の好きな本や文章を読むことができる。	・各教科で自分の意見や考えを書く活動を積極的に取り入れる。 ・「国語力向上タスクフォースによる提案から」にある授業の工夫、発問の工夫を各教科で取り入れ、生徒の考えを深めさせる。 ・朝の活動の時間に、読み聞かせや阿波っこタイムズを活用し、読書活動に親しませる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習した内容について、テスト前にワークやプリントなどを仕上げ提出できる生徒は多い。 ●家庭学習の習慣が定着しておらず、テストに向かって、自分自身で計画を立てて学習に取り組むことが難しい生徒が多い。	・自分の学習課題について目標をもち、目標達成に向けて粘り強く努力することができる。 ・繰り返し同じ課題に取り組んだり、間違えた問題をやり直したりと学習方法を工夫しながら自主的に家庭学習ができる。	・目標管理シートを配付し、学習目標と努力事項を考えさせ、学習に対する意識を高めさせるとともに、見通しをもって学習に取り組めるようにする。 ・ノーメディアデーを月1回実施し、家庭学習や読書など、家庭での過ごし方を考えさせる。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

